

第1回日カンボジア二国間フードバリューチェーン対話

1 概要

- 平成27年12月8日、プノンペンにて第1回日カンボジア二国間フードバリューチェーン対話(農業協力対話)を開催。両国から、農業・食品関係企業、政府、政府関係機関の代表が出席。
- 日本側から、カンボジアのフードバリューチェーンの構築に係る日本企業の投資状況を紹介。カンボジアにおける事業の懸案となっている食品の安全性や通関手続きにおける課題等について、カンボジア政府へ対応・円滑化を要望。また、日系参加企業より、各社の取組事業を紹介。
- カンボジア側は、日本企業の投資を歓迎するとともに、各企業の取組に高い関心を示し、今後、より多くの投資誘致のため日本側から指摘のあった問題の改善に対応する旨の回答があった。また、生産のみならず、川下(製造、加工、流通等の分野)における品質管理や政府職員の人材育成等における今後の協力の推進を日本側に要請。
- 今後、両国間で官民の取組を管理し、本対話を年1回開催・継続していくことで合意。

2 出席者

日本側: 田野井農林水産大臣官房審議官(国際)、JICA、JETRO、FAMIC((独)農林水産消費安全技術センター)、日本の農業・食品関係企業等(※13社)の代表、在カンボジア日本大使館等

※ 損害保険ジャパン日本興亜、スペック、前川製作所、マエカワタイランド、ジャパンファームプロダクツ、鴻池運輸、林田産業、クラタペッパー、SOLアジアホールディングス、三井物産、東京サラヤ、イオン、ヤンマー(現地法人含む)

カンボジア側: サン・バンティ農林水産省次官補、国家開発委員会、水資源気象省、商業省、カンボジア民間企業(12社)

